

**弘前大学  
学部横断型  
副専攻プログラム**

－2023 年度－

HIROSAKI UNIVERSITY

## はじめに 副専攻プログラムのすすめ

皆さんは大学に入学すると同時に、各学部・学科に所属し、それぞれの学問分野の学習と研究を進めていくこととなります。高等学校での学びとは異なる学問の世界で、専門性を深めていきます。

しかしながら、現代社会をめぐる大きな変化は、それまでの学問知のあり方の問い直しを迫っています。文系と理系、人文社会科学と自然科学といった枠組みを超えた学問間の連携や融合というものが求められています。

弘前大学においても、こうした社会の要請に応じるべく、様々な教育改革を行ってきました。教養教育科目における地域志向科目、グローバル科目、課題解決型学習の実施、これらを基盤とした各学部・大学院での専門科目の充実に取り組んでいます。

そしてこのたび新たに「弘前大学学部横断型副専攻プログラム」を開設することにしました。この副専攻プログラムは、これまで以上に教養教育と専門教育との結びつきを強め、学部間の垣根をできるだけ低くして、皆さんの多様な学びを推進しようとするものです。近年、学校教育においては、文系・理系といった枠にとらわれず、自ら課題を設定し、解決しようとする資質や能力を育む STEAM (Science、Technology、Engineering、Arts、Mathematics) 教育の重要性が論じられています。この副専攻プログラムは、弘前大学における STEAM 教育の実践のひとつとして位置づけられるものです。

それぞれの副専攻プログラムは課題＝テーマをベースに構成されています。そしてそこでの課題は、これまで弘前大学において重点が置かれてきた、あるいはこれから力を入れて取り組んでいこうとするテーマになっています。かりに各学問分野を縦系と見なすのであれば、副専攻プログラムは横系にあたります。どの縦系と横系とを組み合わせ、どのような学び・研究の形を織りなすのか。ぜひ皆さんの好奇心や探究心に基づいて、自身のオリジナルな学びをデザインしてみてください。

# 学部横断型副専攻プログラムとは

大学においては、各学部において所定の単位を修得し、卒業認定を受けることによって「学位」（学士の称号）を得ることができます。学位は皆さんの専門性に基づいた学習・研究の成果を証明するものです。

一方、皆さんが大学でどのような分野に触れ、学んだかを証明するものとして、「成績証明書」というものがあります。しかしここで記される学びの記録は、体系的にまとめられたものではなく、科目名の羅列にとどまるものです。したがって、専門分野以外の特定の課題に強く関心を持ち、関連する科目を履修・単位修得したとしても、それを証明するものはこれまで存在しませんでした。

副専攻プログラムは、特定の課題について体系的な学びの形（プログラム）を提供し、そのうえで大学として学びの成果を認定するものです。所定のプログラムの修了者には「弘前大学副専攻プログラム修了証書」が発行されます。「学位記」（いわゆる卒業証書）と合わせて、「修了証書」はもうひとつの学びの証明となります。たとえば理工学部の学生が人文社会科学部のプログラムを修了することで、大学生活を通じて文理融合的な学習に取り組んだことの証を得ることが可能になるのです。

## 3つのメリット

### （1）学部・学科間の枠を超えた学び

弘前大学学部横断型副専攻プログラムは、各学部等が主体となって運営・提供されます。そのため皆さんが所属する学部や学科の枠組みを超えた学びが可能となります。そこでは自身の専門分野以外の学問に触れ、学ぶとともに、学部の異なる学生同士の交流が生まれることも期待されます。学生間の交流やネットワークを通して新たなものの見方や考え方を得ることも、副専攻プログラムが目指す学びのスタイルです。

### （2）多様な方法論の修得

副専攻プログラムでは、これまで弘前大学が全学的な課題として取り組んできたテーマの解決を志向する内容も提供されています。課題の解決には、専門的な知見が必要となることはいうまでもありませんが、同時にそのための方法論は多様でもあります。複数の学問のディシプリンを修得することで、多面的・多角的な視野と方法論をもって、課題について考えることができるようになります。

### （3）幅広い視野と課題解決能力のアピール

現代社会における様々な課題についての問題意識や、解決に向けた思考は、大学においてだけでなく、卒業後の社会においても強く求められるものです。副専攻プログラムを履修し、構成科目の所定の単位を修得することで、在学中に「副専攻プログラム履修証明書」を得ることができます。この証明書をもって、就職活動の場面でも自身の能力をアピールすることができます。

## 学部横断型副専攻プログラムの流れ（履修開始から修了まで）

### ①希望プログラムの履修申請・履修の決定

希望するプログラムの履修申請を行います。  
プログラム開設部局から履修の可否の通知を受けます。

### ②プログラム構成科目の履修登録

プログラム構成科目の履修登録を行います。

### ③プログラム構成科目の履修

通常の授業科目と同様に、登録したプログラム構成科目を履修します。

### ④修了認定、「修了証書」の授与

必要な全ての科目を履修し、  
修了認定後、「修了証書」が授与されます。

#### ※「履修証明書」の発行申請

就職活動に使用する等の目的で、プログラム履修中に、履修証明書が必要な場合は発行申請することができます。（P6 修了証書・履修証明書について 参照）

#### ※履修申請の取消

履修申請をしたプログラムの取消をしたい場合は、履修取消申請を行います。（P6「その他」参照）

# 学部横断型副専攻プログラムの履修・単位について

## ○履修対象者

正規の学部学生が対象です。

※プログラムによっては、入学年度・所属学部等の条件が付されている場合があります。

## ○履修申請の方法

各学期の所定の履修登録期間に、「副専攻プログラム申請フォーム」から申請を行ってください。

申請期間 : <前期>新2年次以上 令和5年3月27日(月)～4月5日(水) 17時  
1年次 令和5年4月4日(火)～4月7日(金) 17時

<後期>令和5年9月20日(水)～9月25日(月) 17時(予定)

申請フォーム : <https://onl.sc/3ssTy2g>



## ○履修の開始時期

履修許可を得た学期から履修開始となります。

※プログラムによっては、教育効果等を勘案して、履修開始時期が定められている場合があります。

## ○履修方法

通常の授業科目と同様に履修してください。「副専攻プログラムチェックシート」を活用し、履修状況の確認、履修漏れを防いでください。

## ○修得単位の取り扱い

<卒業単位への算入> 副専攻プログラムで修得した単位は、条件を満たすものについては、所属学部の卒業要件単位に算入されます。つまり、所属学部の卒業要件単位となっている科目が、同時に副専攻プログラムの構成科目に該当する場合には、この科目を卒業要件単位と副専攻プログラム修了要件単位の双方にカウントされます。※当該副専攻プログラムを修了したかどうかを問いません。

<GPAの算定対象> 副専攻プログラムで修得した単位は、グレード・ポイント・アベレージ(履修科目の成績の平均値「GPA」)の算定対象となります。

# 修了証書・履修証明書について

## ○修了証書

副専攻プログラムを履修し修了要件を満たした場合は、副専攻プログラム修了証書が授与されます。

## ○履修証明書

就職活動に使用する等の目的で、副専攻の履修中に履修証明書が必要な場合、下記要件を満たしていれば、発行申請することができます。

申請先 : 各プログラムの開設部局

申請要件 : (1) プログラムの必要単位の2分の1以上を修得済みであること  
(2) 修得済み単位と履修登録済みの科目の単位数の合計が3分の2以上であること

例 必要単位が16単位のプログラムの場合  
修得済み単位が8単位以上、かつ、履修登録済み単位数が3単位以上で申請可能。

## その他

## ○履修申請の取消について

やむを得ない事情で、申請したプログラムを取消したい場合は、各学期の所定の授業科目履修取り止め期間に、「副専攻プログラム申請取消フォーム」から申請を行ってください。

申請期間 : <前期>令和5年4月25日(火)～5月9日(火)

<後期>令和5年10月16日(月)～10月20日(金) (予定)

申請フォーム : <https://onl.sc/yXs58Ab>



## ○修得済みの科目について

すでに修得済みの科目を該当するプログラムの科目として取り扱うことが可能です。  
(単位修得後に副専攻プログラムを申請することができます。)

## 学部横断型副専攻プログラム一覧（2023年度）

	プログラム名	開設部局	単位数	人数 上限	履修資格	詳細
1	グローバル文化理解	人文社会科学部	14	—	特に無し	P8
2	観光マイスター育成	人文社会科学部	18	—	特に無し	P10
3	起業家育成	人文社会科学部	10	—	特に無し	P11
4	アート・思考・創造	教育学部	10	—	2023年度 以降入学者	P12
5	アートワールドひろさきキュアプログラム	教育学部	12	—	2020年度 以降入学者	P14
6	音楽実技を通じた地域人材育成	教育学部	12	15名 程度	2023年度 以降入学者	P17
7	健康づくり推進	教育学部	12	10名 程度	2023年度 以降入学者	P18
8	心理学と教育	教育学部	8	—	2023年度 以降入学者	P20
9	深い教育的見識をもつ教員の養成プログラム	教育学部	12	15名 程度	2020年度 以降入学者	P21
10	健康づくり推進のための保健・医療サービス 育成プログラム	医学部保健学科	10	10名 程度	特に無し	P23
11	保健・医療・福祉に関わる多職種との連携・ 協働育成プログラム	医学部保健学科	10	10名 程度	特に無し	P24
12	6次産業化マイスター育成	農学生命科学部	10	5名 程度	特に無し	P25
13	放射線総合科学	被ばく医療携推進機構	16	—	特に無し	P27
14	データサイエンスコース	教育推進機構	10(12)	—	特に無し	P29
15	上級言語学習副専攻 (Advanced Language Learning Minor)	教育推進機構	10	15名 程度	特に無し	P33
16	英語コミュニケーション副専攻 (English Communication Minor)	教育推進機構	10	—	特に無し	P35
17	インターナショナル・リベラルアーツ副専攻 (International Liberal Arts Program Minor)	教育推進機構	14	—	特に無し	P37
18	ジェンダーと多様性の理解副専攻 (Gender and Diversity studies Minor)	教育推進機構	8	—	特に無し	P39
19	持続可能な開発目標SDGs教育プログラム	教育推進機構	18	—	特に無し	P41

## 1 グローバル文化理解

開設部局	人文社会科学部
概要	青森県の次世代を担う人材には、今後進んでゆくグローバル化への理解が求められる。本プログラムでは、世界を多様な視点から視る際に必要な英語以外の言語、そして、世界の多様な文化への理解とそれを受け入れる際の対応に関する知識について、一定の単位を習得することで、グローバル社会で活躍可能な人材を育成する。
到達目標	グローバル化された文化や社会とそこに生ずる諸問題について理解すること。 その理解に基づいた上で、問題解決を行うことのできる知識を身につけること。
履修人数上限	なし
履修時期	1年次前期～4年次後期
修了要件	本プログラムの必修科目を2単位以上、選択科目を12単位以上修得していること。
プログラムの紹介	グローバル文化理解プログラムは、多様な視点をもたらす英語以外の語学に関する基礎を習得した上で、国際社会に関する科目や、人文社会科学部で開講される専門的な科目を履修することで、グローバル化された文化や社会をどう理解し、そこでどうコミュニケーションし、どのようにしてともに問題の解決を行うかについての知識を身につけるプログラムです。
プログラムに関する問合せ先	人文社会科学部教務（学務）担当 TEL 0172-39-3940 Mail jm3940@hirosaki-u.ac.jp 世話教員 亀谷 学 Mail kameya.m@hirosaki-u.ac.jp

## グローバル文化理解 授業科目一覧

教養・ 専門 (学部)	科目群	授業科目名	学期	開始年次 学期	単位数	必修	選択		
専門 (人社)		多文化共生教育コンソーシアム連携講義「多文化共生への誘い」 (特設講義B)	後期	1年 後期	2	2			
教養	グローバル	国際地域・社会・文化	後期	1年 後期	2		2		
教養	多言語	ドイツ語 I	前期	1年 前期	4	}	6		
教養	多言語	ドイツ語 II A	後期	1年 後期	2				
教養	多言語	ドイツ語 II B	後期	1年 後期	2				
教養	多言語	フランス語 I	前期	1年 前期	4				
教養	多言語	フランス語 II A	後期	1年 後期	2				
教養	多言語	フランス語 II B	後期	1年 後期	2				
教養	多言語	中国語 I	前期	1年 前期	4				
教養	多言語	中国語 II A	後期	1年 後期	2				
教養	多言語	中国語 II B	後期	1年 後期	2				
教養	多言語	特設言語	後期	1年 後期	2				
専門 (人社)		地域基礎論 A	後期	1年 後期	2			}	4
専門 (人社)		地域基礎論 B	前期	2年 前期	2				
専門 (人社)		国際共生論 A	後期	1年 後期	2				
専門 (人社)		国際共生論 B	前期	2年 前期	2				
専門 (人社)		グローバルコミュニケーション論 A	後期	1年 後期	2				
専門 (人社)		グローバルコミュニケーション論 B	前期	2年 前期	2				
合計						14			

## 2 観光マイスター育成

開設部局	人文社会科学部
概要	観光に関する知識を理論的・実践的に学ぶことを通して、観光分野で活躍する人材を育成します。
到達目標	青森県の観光の課題を理解するとともに、青森の地域課題の解決や資源の活用に関するプロジェクトを企画したり、実施したりできるようになること
履修人数上限	なし
履修時期	1年次前期～4年次後期
修了要件	本プログラムの必修科目を6単位以上、選択科目を12単位以上修得していること
プログラムの紹介	観光に関する知識を理論的・実践的に学ぶプログラムです。観光に関心のある方、観光による地域活性化を考えている方などの受講をお待ちしています。
プログラムに関する問合せ先	人文社会科学部教務（学務）担当 TEL 0172-39-3940 Mail jm3940@hirosaki-u.ac.jp 世話教員 森 樹男 Mail mori@hirosaki-u.ac.jp

### 観光マイスター育成 授業科目一覧

教養・専門（学部）	科目群	授業科目名	学期	開始年次 学期	単位数	必修	選択
教養	社会・文化	政治経済・社会 経営学入門Ⅰ-	前期	1年 前期	2	2	
専門 (人社)		ベンチャービジネス論	後期	1年 後期	2	2	
専門 (人社)		企業戦略コース特設講義 観光基礎論	前期	3年 前期	2	2	
教養	グローバル	地域の経済・産業	後期	1年 後期	2		2
教養	社会・文化	政治経済・社会 (おもに経営、会計関連から4単位以上)	前後 期	1年 前期	2		4
専門 (人社)		企業戦略コース特設講義 サービス経営論	前期	2年 前期	2	}	4
専門 (人社)		企業戦略コース特設講義 サービス企業論	後期	2年 後期	2		
専門 (人社)		企業戦略コース特設講義 観光と地域振興	前期	2年 前期	2		
専門 (人社)		企業戦略コース特設講義 フードビジネス論	後期	2年 後期	2		
専門 (人社)		ビジネス戦略実習Ⅰ	前期	3年 前期	2	}	2
専門 (人社)		ビジネス戦略実習Ⅱ	後期	3年 後期	2		
専門 (人社)		スタディツアー	前期	3年 前期	2		
専門 (人社)		インターンシップA	前期	3年 前期	2		
専門 (人社)		インターンシップB	後期	3年 後期	2		
合計						18	

### 3 起業家育成

開設部局	人文社会科学部
概要	起業に関して経営学やマーケティングなどの基礎的な経営知識を学ぶだけでなく、事例を通して実践的な知識を身につけ、地域で活躍したいと考える学生の起業を促すプログラムです。
到達目標	起業家マインドを身につけ、起業家的な発想、行動ができるようになること。
履修人数上限	なし
履修時期	1年次前期～4年次後期
修了要件	本プログラムの必修科目を6単位以上、選択科目を4単位以上修得していること
プログラムの紹介	このプログラムでは起業家マインドを身につけたい、実際に起業をしてみたい、などと考える挑戦意欲のある方の受講をお待ちしています。
プログラムに関する問合せ先	人文社会科学部教務（学務）担当 TEL 0172-39-3940 Mail jm3940@hirosaki-u.ac.jp 世話教員 森 樹男 Mail mori@hirosaki-u.ac.jp

### 起業家育成 授業一覧

教養・専門 (学部)	科目群	授業科目名	学期	開始年次 学期	単位数	必修	選択
教養	社会・文化	政治経済・社会—経営学入門Ⅰ—	前期	1年 前期	2	2	
専門 (人社)		ベンチャービジネス論	後期	1年 後期	2	2	
教養	グローバル	地域プロジェクト演習—起業プラン作成演習—	前後期	2年 前期	2	2	
専門 (人社)		社会的企業論	前期	3年 前期	2	}	4
専門 (人社)		地域イノベーション論Ⅰ	前期	3年 前期	2		
専門 (人社)		地域イノベーション論Ⅱ	後期	3年 後期	2		
専門 (人社)		サービス企業論	後期	2年 後期	2		
専門 (人社)		サービス経営論	前期	2年 前期	2		
合計						10	

## 4 アート・思考・創造

開設部局	教育学部
概要	<p>このプログラムでは、まず「アート入門」（コア科目）でアート（美術）という芸術領域がカバーする様々な局面（ファイン・アート、フォークロア・アート、デザイン、美術史、美術教育）の基本的事項を学びます。その後、履修者の関心に応じて、各領域の制作や理論、歴史、教育そして現代の美術が抱える諸問題を、選択科目を通して、基礎・発展と段階を踏みながら学んでいきます。</p> <p>またこのプログラムでは、「アート（美術）」の諸分野を学術的・実践的に学ぶことで、社会における美術の価値や意義を理解し、近年、地域振興や産業分野で活躍する人材にも求められているアートの思考法を身につけることができます。それは、いわゆるSTEAM教育においてartに期待される部分と重なります。</p> <p>美術制作は、様々な事象に対する考察を基礎とし、作ることと思考および発想を連動させながら、作品を創造していく緻密な作業です。この作業が、いわゆる「アートの思考法」の礎となります。履修者はこの礎を身につけ、アートについて学び続ける力を修得します。</p>
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 社会における美術の価値や意義を理解すること</li> <li>• 地域振興や産業分野で活用し得る「アートの思考法」を身につけること</li> <li>• 作品制作の基本的な方法や技術を身につけること</li> <li>• アートについて学び続ける力を修得すること</li> </ul>
履修人数上限	なし
履修時期	1年次前期～4年次後期
修了要件	本プログラムの必修科目を2単位以上、選択科目を8単位以上修得していること
プログラムの紹介	<p>作品を制作してみたい人、絵画や彫刻が好きの人、デザインに興味がある人、モノづくりを実践してみたい人はもちろん、鑑賞の方が楽しい人やアートを通じてさまざまな人や社会とコミュニケーションをとりたい人、そんなみなさんが楽しく学べるプログラムです。専門分野に新たな発想を導入するアイデアが得られるかもしれません。</p>
プログラムに関する問合せ先	<p>教育学部教務（学務）担当  TEL 0172-39-3939  Mail jm3939@hirosaki-u.ac.jp  世話教員 塚本 悦雄 Mail etsuka@hirosaki-u.ac.jp</p>

## アート・思考・創造 授業科目一覧

教養・ 専門 (学部)	科目群	授業科目名	学期	開始年次 学期	単位数	必修	選択
教養	社会・文化	芸術 アート入門	前期	1年 前期	2	2	
専門 (教育)		素描 (1年)	前期	1年 前期	1	8	
専門 (教育)		素描 (2年)	前期	2年 前期	1		
教養	社会・文化	芸術 日本画入門Ⅰ	前期	1年 前期	2		
教養	社会・文化	芸術 彫刻入門Ⅱ	後期	1年 後期	2		
教養	社会・文化	芸術 デザイン入門	後期	1年 後期	2		
教養	社会・文化	くらし・文化 わら細工と手織物	前期	1年 前期	2		
教養	社会・文化	思想 美学入門	後期	1年 後期	2		
教養	社会・文化	芸術 現代の艺术的思考	前期	1年 前期	2		
教養	社会・文化	アートとシティズンシップ	後期	1年 後期	2		
教養	人間・生命	人を育む営み 美術教育学入門A	前期	1年 前期	2		
教養	人間・生命	人を育む営み 美術教育学入門B	後期	1年 後期	2		
教養	多地的地域志向科目	地域プロジェクト演習 地域の製品の制作・木工	後期	2年 後期	2		
教養	グローバル	国際地域・社会・文化 美術史研究入門	後期	1年 後期	2		
専門 (教育)		現代美術演習	前期	1年 前期	2		
専門 (教育)		美術史Ⅰ	前期	2年 前期	2		
専門 (教育)		絵画Ⅱ (3年前期)	前期	3年 前期	2		
専門 (教育)		彫刻Ⅱ (前期)	前期	3年 前期	2		
専門 (教育)		デザインⅡ (3年前期)	前期	3年 前期	2		
専門 (教育)		美術史Ⅱ (3年後期)	後期	3年 後期	2		
専門 (教育)		工芸史	前期	3年 前期	2		
合計						10	

## 5 アートワールドひろさきキュアプログラム

開設部局	教育学部
概要	<p>TVやYouTubeには、たくさんの良質な番組もあり、いまや「アート」の情報はゆたかになったようにみえます。しかしどうすれば、「アート」そのもの、すなわち作品やアーティストと時空間を共にし、直接にその迫力を感じられる機会はさらに増えるのでしょうか。最も大切なのは「求める」こと。そして、「もっと見たい・聴きたい」と周囲に働きかけることです。そこでこのプログラムでは、各人のアートを見る眼・聴く耳を養いながら、そこから一歩進んで、「『アート』の体験・直接鑑賞の機会を創出してみる」、「社会、人々と『アート』を結びつける」ことを実習します。</p> <p>初年度コア科目としては、「アートとは何か」を考える「美学入門」、「アート」をめぐる政策や制度の現状を知る「地域の文化振興」の2つがあります。そのほか、美術や建築、音楽、芸能など各ジャンルの概要と鑑賞方法を知る講義は、履修者がそれぞれ関心あるジャンルを自由に選ぶことができます。</p> <p>2年目以降の前期コア科目「地域とアートワールド」は実践の準備段階です。身近な例として弘前市の「アート」の現状や課題を捉え、問題解決に向けた方策を考え、助成金の獲得方法も含めてアートイベントを企画します。後期コア科目「アート・インターンシップ」は、前期の授業内容の続きで、企画したイベントを弘前れんが倉庫美術館やデザイナー、ギャラリー経営者などの協力のもと、実施に移していきます。</p>
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「アート」の概念と質を理解し、自分の意見を持てるようになる</li> <li>● 「アート」の体験・直接鑑賞の機会創出の実践を通じて、社会や企業における課題の発見と解決策を提案できる</li> </ul>
履修人数上限	なし
履修時期	1年次前期～4年次後期
修了要件	本プログラムの必修科目を8単位以上、選択科目を4単位以上修得していること
プログラムの紹介	<p>2021年度の「アート・インターンシップ」では、弘前れんが倉庫美術館の展覧会「りんご前線」のガイドツアー（「りんご前線めぐり」）をオンラインで開催し、青森県はもちろん、北海道や首都圏からの参加者と対話しながら、作品を紹介する鑑賞会を行いました（<a href="https://home.hirosaki-u.ac.jp/artworld/category/cure/">https://home.hirosaki-u.ac.jp/artworld/category/cure/</a>）。2022年度はワークショップ「アートボックスをつくろう！」を企画・運営しました（<a href="https://artbox2023.peatix.com/view">https://artbox2023.peatix.com/view</a>）。なお、これらのチラシは参加者が白紙から作成したものです。</p> <p>履修生のみなさんは、それぞれのアイデアを振り絞って、ウェブ上のリソースやサービス、コンピュータ・グラフィックのアプリケーション、また、教育学部の備える制作や演奏のための設備も大いに活用して下さい。</p> <p>こうした課題解決型の学習・実践は、就職活動、特に企業インターンシップにおけるグループ活動をはじめ、社会に出てからも大いに役立つことしょう。</p> <p>*本プログラムは、2020年度に本学の学生を対象とした教育プログラムとして開始し、2023年度より学部横断型副専攻プログラムに移行します。対象学生は2020年度以降入学者です。</p>
プログラムに関する問合せ先	<p>教育学部教務（学務）担当  TEL 0172-39-3939  Mail <a href="mailto:jm3939@hirosaki-u.ac.jp">jm3939@hirosaki-u.ac.jp</a>  世話教員 出 佳奈子 Mail <a href="mailto:idek_48@hirosaki-u.ac.jp">idek_48@hirosaki-u.ac.jp</a></p>

# アートワールドひろさきキュアプログラム 授業科目一覧

<2022年度以降入学者対象>

教養・ 専門(学部)	科目群	授業科目名	学期	開始年次 学期	単位数	必修	選択
教養	社会・文化	くらし・文化ー地域の芸術文化振興ー	前期	1年 前期	2	2	
教養	社会・文化	思想ー美学入門ー	後期	1年 後期	2	2	
教養	社会・文化	芸術ーモダンアートー	前期	1年 前期	2	}	4
教養	グローバル	地域の芸術・文学ー日本美術史ー	後期	1年 後期	2		
教養	グローバル	地域の社会・文化ーオンライン演奏会実習ー	後期	1年 後期	2		
教養	グローバル	国際地域・社会・文化ー美術史研究入門ー	後期	1年 後期	2		
教養	グローバル	国際地域・社会・文化ー音楽史研究入門ー	後期	1年 後期	2		
教養	グローバル	国際地域・社会・文化ートランスナショナルリズムの音楽ー	後期	1年 後期	2		
教養	グローバル	世界の芸術・文学ー西洋美術史入門ー	前期	2年 前期	2		
教養	グローバル	世界の芸術・文学ーコンテンポラリーアートー	後期	1年 後期	2		
教養	グローバル	世界の芸術・文学ー近現代の音楽文化史ー	前期	2年 前期	2		
教養	グローバル	世界の芸術・文学ー舞台芸術概論ー	後期	1年 後期	2		
教養	グローバル	地域の多様性と活性化ー地域とアートワールドー	前期	2年 前期	2	2	
教養	キャリア	キャリアデザインーアート・インターンシップー	後期	2年 後期	2	2	
合計						12	

<2020・2021年度入学対象>

教養・専門(学部)	科目群	授業科目名	学期	開始年次 学期	単位数	必修	選択
教養	社会・文化	くらし・文化ー地域の芸術文化振興ー	前期	1年 前期	2	}	2
教養	ローカル	青森の芸術ー青森の芸術文化振興ー *2020・2021年度開講科目			2		
教養	社会・文化	思想ー美学入門ー	後期	1年 後期	2	2	
教養	社会・文化	芸術ーモダンアートー	前期	1年 前期	2	}	4
教養	ローカル	青森の芸術ー日本美術史ー	後期	1年 後期	2		
教養	ローカル	青森の文化ーオンライン演奏会実習ー	後期	1年 後期	2		
教養	グローバル	世界の芸術・芸能ー美術史研究入門ー	後期	1年 後期	2		
教養	グローバル	世界の芸術・芸能ー音楽研究入門ー	後期	1年 後期	2		
教養	グローバル	世界の芸術・芸能ー音楽人類学ー	後期	1年 後期	2		
教養	グローバル	世界の芸術・芸能ー西洋美術史入門ー	前期	2年 前期	2		
教養	グローバル	世界の芸術・芸能ーコンテンポラリーアートー	後期	1年 後期	2		
教養	グローバル	世界の芸術・芸能ー近現代の音楽文化史ー	前期	2年 前期	2		
教養	グローバル	世界の芸術・芸能ー舞台芸術概論ー	後期	1年 後期	2		
教養	グローバル	世界の芸術・芸能ーオルガンとヨーロッパの文化、街ー *2020年度開講科目			2		
教養	グローバル	比較文化ーオルガンとヨーロッパの街、文化ー *2021年度開講科目			2		
教養	学部越境 地域志向科目	地域プロジェクト演習ー弘前のアートワールドー	前期	2年 前期	2		
教養	キャリア	キャリアデザインーアート・インターンシップー	後期	2年 後期	2	2	
合計						12	

## 6 音楽実技を通じた地域人材育成

開設部局	教育学部
概要	このプログラムは、音楽実技を通じた「活力のある持続可能な地域づくり」そのために必要な「人材育成」を目標として開講される。まず、これまでの西洋音楽での身体の使い方として、声楽並びにピアノ及び作曲の基礎を学ぶ。その上で地域環境と音楽との関係を踏まえた音楽創作を、現代音楽のさまざまな技法を参照しつつ学ぶ。このプロジェクト受講後、地域のアートプロジェクトを企画しファシリテーターとしての役割を果たせるようになることを、最終目標とする。
到達目標	身体、環境、サウンドスケープ、ユニヴァーサル・デザイン、SDGs等さまざまな角度から音楽実技を学び、地域のアートプロジェクトを企画しファシリテーターとしての役割を果たせるようになる。
履修人数上限	15人程度
履修時期	1年次前期～4年次後期
修了要件	本プログラムの選択科目を12単位以上修得していること
プログラムの紹介	声楽、ピアノ、作曲、サウンド・プロジェクト等の音楽実技を、サウンドスケープ、ユニヴァーサル・デザイン、SDGsを通して多角的に学ぶことで、地域のアートプロジェクトを企画し、ファシリテーターとしての役割を果たせるようになるためのプログラムです。
プログラムに関する問合せ先	教育学部教務（学務）担当 TEL 0172-39-3939 Mail jm3939@hirosaki-u.ac.jp 世話教員 今田 匡彦 Mail timada@hirosaki-u.ac.jp

### 音楽実技を通じた地域人材育成 授業科目一覧

教養・専門（学部）	科目群	授業科目名	学期	開始年次 学期	単位数	必修	選択
専門（教育）		独唱Ⅰ	前期	2年 前期	1	}	12
専門（教育）		独奏および伴奏	後期	1年 後期	1		
教養	社会・文化	芸術—声楽入門Ⅰ	前期	1年 前期	2		
教養	社会・文化	芸術—音楽と哲学A—作曲を通して考察する	前期	1年 前期	2		
専門（教育）		音楽史（日本の伝統音楽及び民族音楽を含む）	前期	1年 前期	2		
教養	グローバル	世界の芸術・文学—芸術身体論：ピアノ入門①	前期	1年 前期	2		
教養	グローバル	世界の芸術・文学—芸術身体論：ピアノ入門②	後期	1年 後期	2		
専門（教育）		音楽科教育法Ⅰ	前期	2年 前期	2		
教養	グローバル	地域プロジェクト演習—サウンドスケープ入門—	前期	1年 前期	2		
専門（教育）		独唱Ⅱ	後期	2年 後期	1		
専門（教育）		音楽理論Ⅰ	前期	2年 前期	2		
専門（教育）		独奏Ⅱ	後期	2年 後期	1		
合計						12	

## 7 健康づくり推進

開設部局	教育学部
概要	「短命県返上」といった地域の課題から出発し、ヘルスリテラシー（健やか力）の向上による生活習慣の改善や社会で取り組むこころの健康づくりに関わる理論と実践双方について学ぶ。エビデンスに基づいた実態の把握から、地域における健康づくりを推進する実践までを担う人財の育成を目指す。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ライフステージすべてにわたり、心身ともに健康な生活を送るために必要な健康医科学的な教養を身に付けること</li> <li>・ 健康医科学的なエビデンスをベースに個人の健康問題から社会の健康問題まで、幅広く探求する志向を身に付けること</li> </ul>
履修人数上限	10人程度
履修時期	1年次前期～4年次後期
修了要件	本プログラムの必修科目を2単位以上、選択科目を10単位以上修得していること
プログラムの紹介	<p>本副専攻プログラムでは、エビデンスに基づいた「健康づくりの推進」とは何か？「健康科学」「医学」「運動学」「精神保健学」「食物学」の各分野から、健康なライフスタイルの構築のためのヘルスリテラシー養成に必要な知識やスキルを探求します。</p> <p>さらに、個人の健康を超え、社会の健康課題についてグローバルな視点から最新情報を概観することにより、効果的な健康づくりの社会実装について学びます。</p> <p>日本一の短命県に位置する総合大学が考える「健康づくり」に、足を踏み入れてみませんか。</p>
プログラムに関する問合せ先	<p>教育学部教務（学務）担当  TEL 0172-39-3939  Mail jm3939@hirosaki-u.ac.jp  世話教員 戸塚 学 Mail tot@hirosaki-u.ac.jp</p>

## 健康づくり推進 授業科目一覧

教養・ 専門（学部）	科目群	授業科目名	学期	開始年次 学期	単位数	必修	選択
教養	スタディスキル	地域学ゼミナール	後期	1年 後期	2	2	
教養	人間・生命	運動と健康 A—健康運動実践①—	前期	1年 前期	2	}	2
教養	人間・生命	運動と健康 A—運動とリハビリテーション A—	前期	1年 前期	2		
教養	人間・生命	運動と健康 A—運動とリハビリテーション B 子どもから老人 まで—	前期	1年 前期	2		
教養	人間・生命	運動と健康 A—ヨガの理論と実践—	前期	1年 前期	2		
教養	人間・生命	運動と健康 A—リハビリテーションとメンタルヘルス—	前期	1年 前期	2		
教養	人間・生命	運動と健康 A—スポーツ運動を通じた健康づくり—	前期	1年 前期	2		
教養	人間・生命	運動と健康 B	後期	1年 後期	2		
教養	人間・生命	メンタルヘルス—心と体の健康を考える—	前期	1年 前期	2	}	4
教養	人間・生命	メンタルヘルス—心と運動—	前期	1年 前期	2		
教養	人間・生命	メンタルヘルス—幼少期トラウマの癒しと栄養による精神的健 康の増進—	前期	1年 前期	2		
教養	人間・生命	メンタルヘルス—メンタルヘルス I—	後期	1年 後期	2		
教養	人間・生命	生活と健康—人間発達とリハビリテーション—	前期	1年 前期	2		
教養	人間・生命	生活と健康—ストレスと健康—	前期	1年 前期	2		
教養	人間・生命	生活と健康—食と栄養と薬の関係—	前期	1年 前期	2		
教養	人間・生命	生活と健康—食と健康—	前期	1年 前期	2		
教養	人間・生命	生活と健康—生活習慣と健康—	前期	1年 前期	2		
教養	人間・生命	人を育む営み—子どもの健康—	前期	1年 前期	2		
教養	人間・生命	人を育む営み—女性の健康—	後期	1年 後期	2		
教養	人間・生命	情報と健康・医学—保健・医療とデータ解析—	前期	1年 前期	2		
教養	グローバル	持続可能な開発目標 SDGs—世界の健康問題—	後期	1年 後期	2	}	4
教養	グローバル	地域プロジェクト演習—健康革命を学ぶ—	前期	1年 前期	2		
教養	グローバル	青森の多様性と活性化—雪国活性化論—	後期	1年 後期	2		
教養	グローバル	地域の自然・環境—食育概論②—	後期	1年 後期	2		
教養	グローバル	青森の文化—地域社会の創造と教育—	前期	2年 前期	2		
教養	社会・文化	くらし・文化—武道の世界—	前期	1年 前期	2		
専門 (教育)		健康教育概論	後期	3年 後期	2		
専門 (教育)		健康教育実習	通年	3年 前期	2		
合計						12	

## 8 心理学と教育

開設部局	教育学部
概要	このプログラムは、発達心理学・教育心理学・臨床心理学・社会心理学などの個別の心理学領域の立場から専門的・学問的に心理学について学ぶことによって、教員養成課程や教養教育で学ぶ心理学の知識をさらに深め、より深く人間を理解することを目的とする。そして、学校・家庭・地域が連携し社会全体で子どもを育む仕組みづくりの一助となれるような人材育成に貢献することを目指す。
到達目標	子どもから大人まで、個人はどのように発達し、どのような悩みを抱え、学校・家庭・地域等、社会全体は、どのようにして個人を支えることができるのかについて、基本的な理解をすることを目標とする。
履修人数上限	なし
履修時期	1年次前期～4年次後期
修了要件	本プログラムの必修科目を4単位以上、選択科目を4単位以上修得していること
プログラムの紹介	心理学というと、カウンセリングや臨床心理学のイメージが強いと思いますが、あくまで心理学全体のなかの一領域です。発達心理学・教育心理学・社会心理学など、それ以外の心理学の各領域についても併せて学ぶことで、多角的・立体的な人間理解を目指し、心理学的知見の教育活動への意義についても論じます。
プログラムに関する問合せ先	教育学部教務（学務）担当 TEL 0172-39-3939 Mail jm3939@hirosaki-u.ac.jp 世話教員 吉中 淳 Mail yosinaka@hirosaki-u.ac.jp

### 心理学と教育 授業科目一覧

教養・専門（学部）	科目群	授業科目名	学期	開始年次 学期	単位数	必修	選択
専門（教育）		心理学概論Ⅰ	後期	1年 前期	2	2	
専門（教育）		心理学概論Ⅱ	前期	1年 後期	2	2	
専門（教育）		社会心理学	前期	2年 前期	2	}	4
専門（教育）		発達心理学	前期	3年 前期	2		
専門（教育）		教育心理学	後期	2年 後期	2		
専門（教育）		臨床心理学	後期	3年 後期	2		
専門（教育）		学習心理学	前期	2年 前期	2		
教養	人間・生命	心理学の世界 ―心理学の基礎―	前期	1年 前期	2		
合計						8	

## 9 深い教育的見識をもつ教員の養成プログラム

開設部局	教育学部
概要	本プログラムでは、幼児期から青年期までの子どもの育ちを視野に入れながら、教育方法・教育史・教育制度・社会教育・幼児教育・特別支援教育などの多様な角度から教育的見識を深め、力ある教員の養成をめざします。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の仕事に必要な教育学の理論について理解を深めること</li> <li>・多角的に教育的見識を深め、「目指したい教師像」を描けるようになること</li> </ul>
履修人数上限	15人程度
履修時期	1年次前期～4年次後期
修了要件	本プログラムの必修科目を2単位以上、選択科目を10単位以上修得していること
プログラムの紹介	<p>本プログラムの主たる対象は、教職志望の学生です（教育学部以外の学生も含みます）。教育学について学びたい学生も履修可能です。</p> <p>本プログラムは、教育職員免許法施行規則に規定される「教育の基礎的理解に関する科目」の発展として位置づけられるものです。なお、「教科及び教科の指導法」に係る内容は取り扱いません。</p>
プログラムに関する問合せ先	<p>教育学部教務（学務）担当  TEL 0172-39-3939  Mail jm3939@hirosaki-u.ac.jp  世話教員 越村 康英 Mail koshimura.y@hirosaki-u.ac.jp</p>

## 深い教育的見識をもつ教員の養成プログラム 授業科目一覧

教養・ 専門(学部)	科目群	授業科目名	学期	開始年次 学期	単位数	必修	選択
教養	人間・生命	人を育む営みー教育学への誘いー	前期	1年 前期	2	2	
専門 (教育)		教育方法特殊講義	後期	3年 後期	2	}	10
専門 (教育)		教育方法演習	前期	3年 前期	2		
専門 (教育)		教育社会学・教育史特殊講義	前期	3年 前期	2		
専門 (教育)		教育社会学・教育史演習	後期	3年 後期	2		
専門 (教育)		現代教育政策論	後期	3年 後期	2		
専門 (教育)		学校経営法規演習	前期	3年 前期	2		
専門 (教育)		教育学特殊講義(生涯学習支援論Ⅰ)	前期	3年 前期	2		
専門 (教育)		教育学演習	後期	3年 後期	2		
専門 (教育)		地域社会と社会教育	後期	3年 後期	2		
専門 (教育)		社会教育特殊講義	前期	3年 前期	2		
専門 (教育)		社会教育演習	後期	3年 後期	2		
教養	人間・生命	人を育む営みー教育と社会ー	後期	1年 後期	2		
専門 (教育)		幼児教育学	前期	3年 前期	2		
専門 (教育)		幼児教育学演習	後期	3年 後期	2		
専門 (教育)		幼児心理学	前期	3年 前期	2		
専門 (教育)		幼児心理学演習	後期	3年 後期	2		
教養	人間・生命	人を育む営みー幼児教育への誘いー	後期	1年 後期	2		
教養	人間・生命	人を育む営みー乳幼児の教育と社会ー	前期	1年 前期	2		
専門 (教育)		知的障害者の心理	後期	1年 後期	2		
専門 (教育)		L D者等教育総論	後期	2年 後期	1		
専門 (教育)		自閉症・情緒障害者教育総論	後期	2年 後期	1		
教養	人間・生命	人を育む営みー育児と子どもの発達Aー	前期	1年 前期	2		
教養	人間・生命	人を育む営みー育児と子どもの発達Bー	後期	1年 後期	2		
合計						12	

## 10 健康づくり推進のための保健・医療サービス育成プログラム

開設部局	医学部保健学科
概要	このプログラムは、県民一人ひとりの健康づくりの推進を目標として、保健・医療サービスに関わる地域保健、多職種の役割、チーム医療の概要を理解し、自らが率先して健康づくりに参加するための知識と態度を養う。
到達目標	○健康推進に関わる保健・医療サービスや多職種の役割、チーム医療の概要を理解する（見通す力）。 ○自らの健康づくりに率先して参加することができる（解決していく力）。
履修人数上限	10人程度
履修時期	1年次前期～4年次後期
修了要件	本プログラムの必修科目を6単位以上、選択科目を4単位以上修得していること
プログラムの紹介	本プログラムで健康づくりに関わる保健・医療サービス、多職種の役割やチーム医療を学ぶことによって、率先して自分や家族、周囲の人々の健康づくりを考え、健康に向けての行動をとるための知識と態度を修得することができます。
プログラムに関する問合せ先	医学部保健学科学務グループ TEL 0172-39-5911 Mail jm5911@hirosaki-u.ac.jp 世話教員 藤田 あけみ Mail a_fujita@hirosaki-u.ac.jp

### 健康づくり推進のための保健・医療サービス育成プログラム 授業科目一覧

教養・専門(学部)	科目群	授業科目名	学期	開始年次 学期	単位数	必修	選択
教養	自然・科学	環境と生活－放射線の理解－	前期	1年 前期	2	}	2
教養	人間・生命	生活と健康－食と健康－	前期	1年 前期	2		
教養	人間・生命	生活と健康－生活習慣と健康－	前期	1年 前期	2	2	
専門 (医保)		保健学概論	前期	1年 前期	1	1	
専門 (医保)		コミュニケーション論	前期	1年 前期	1	1	
専門 (医保)		地域保健学	後期	1年 後期	2	2	
専門 (医保)		看護学概論	前期	1年 前期	2	}	2
専門 (医保)		理学療法学総論	前期	1年 前期	1		
専門 (医保)		作業療法概論	前期	1年 前期	2		
専門 (医保)		臨床心理学	後期	2年 後期	1		
専門 (医心)		医学概論	前期	1年 前期	2		
専門 (医保)		臨床栄養学	前期	2年 前期	1		
合計						10	

## 1 1 保健・医療・福祉に関わる多職種との連携・協働育成プログラム

開設部局	医学部保健学科
概要	このプログラムは、誰もが生き生きと安心して暮らせる環境づくりを目標として、保健・医療・福祉の包括ケアシステムの充実に向けて保健・医療・福祉に関わる多職種の概要を理解する。包括ケアシステムの充実のために多職種との連携・協働について学び、積極的に連携・協働に参加できる態度を養う。
到達目標	○保健・医療・福祉の包括ケアシステムに関わる多職種の概要、多職種の連携・協働を理解する（見通す力）。 ○包括ケアシステムの充実に向けた多職種との連携・協働において、自身ができることを考えることができる（学び続ける力）。
履修人数上限	10人程度
履修時期	1年次前期～4年次後期
修了要件	本プログラムの必修科目を6単位以上、選択科目を4単位以上修得していること
プログラムの紹介	本プログラムは包括ケアシステムに関わる保健・医療・福祉の多職種の連携・協働を学ぶことによって、誰もが生き生きと安心して暮らすための環境づくりに自身ができることを考えるための知識と態度を学ぶことができます。
プログラムに関する問合せ先	医学部保健学科学務グループ TEL 0172-39-5911 Mail jm5911@hirosaki-u.ac.jp 世話教員 藤田 あけみ Mail a_fujita@hirosaki-u.ac.jp

### 保健・医療・福祉に関わる多職種との連携・協働育成プログラム 授業科目一覧

教養・専門(学部)	科目群	授業科目名	学期	開始年次 学期	単位数	必修	選択
教養	自然・科学	環境と生活－放射線の理解－	前期	1年 前期	2	2	
専門 (医保)		保健学概論	前期	1年 前期	1	1	
専門 (医保)		コミュニケーション論	前期	1年 前期	1	1	
専門 (医保)		看護学概論	前期	1年 前期	2	}	3
専門 (医保)		理学療法学総論	前期	1年 前期	1		
専門 (医保)		作業療法概論	前期	1年 前期	2		
専門 (医保)		臨床心理学	後期	2年 後期	1		
専門 (医心)		医学概論	前期	1年 前期	2		
専門 (医保)		地域保健学	後期	1年 後期	2	2	
専門 (医保)		医療リスクマネジメント	前期	3年 前期	1	}	1
専門 (医保)		多職種連携演習	前期	3年 前期	1		
合計						10	

## 1 2 6次産業化マイスター育成

開設部局	農学生命科学部
概要	農業の6次産業化を進める青森の自治体や企業のプロジェクトに卒業後すぐに貢献できる即戦力となる人材を育てる。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6次産業化に関する商品やサービスを開発する</li> <li>・農産物生産、食品加工、農産物流通に関する基礎知識を習得する</li> </ul>
履修人数上限	5人程度
履修時期	1年次前期～4年次後期
修了要件	本プログラムの必修科目を2単位以上、選択科目を8単位以上修得していること
プログラムの紹介	<p>6次産業化とは、第1次産業としての農林漁業に、加工などの2次産業、サービス・販売などの3次産業を融合させ、新たな付加価値を生み出す取組です。1次×2次×3次=6次となることから6次産業化といえます。</p> <p>このプログラムでは、農産物生産、食品加工、農産物流通に関する基礎知識を習得するための科目を履修した後、インターンシップの中で、6次産業化に関する商品やサービスを開発します。</p>
プログラムに関する問合せ先	<p>農学生命科学部教務担当  TEL 0172-39-3752  Mail jm3752@hirosaki-u.ac.jp  世話教員 石塚 哉史 Mail s-ishi@hirosaki-u.ac.jp</p>

## 6次産業化マイスター育成 授業科目一覧

教養・ 専門(学部)	科目群	授業科目名	学期	開始年次 学期	単位数	必修	選択
専門 (農生)	農生	インターンシップ(6次産業化マイスター育成)	通年	3年	2	2	
教養	グローバル	地域の自然・環境－食育概論①－	後期	1年 後期	2	}	8
教養	グローバル	地域の自然・環境－食育概論②－	後期	1年 後期	2		
教養	グローバル	地域の自然・環境－青い森の食材機能学－	後期	1年 後期	2		
専門 (農生)	農生	食料経済論	前期	1年 前期	2		
専門 (農生)	農生	食品科学	後期	1年 後期	2		
専門 (農生)	農生	園芸学	後期	1年 後期	2		
専門 (農生)	農生	食品衛生学	前期	2年 前期	2		
専門 (農生)	農生	食品学各論	前期	2年 前期	2		
専門 (農生)	農生	栄養化学	前期	2年 前期	2		
専門 (農生)	農生	畜産学汎論	前期	2年 前期	2		
専門 (農生)	農生	作物学汎論	前期	2年 前期	2		
専門 (農生)	農生	食品開発科学	後期	2年 後期	2		
専門 (農生)	農生	起業ビジネス論	後期	3年 後期	2		
合計						10	

※農学生命科学部の学生で、上記科目に関して、所属する学科のカリキュラムで定められた年次・学期がある場合には、その年次・学期に履修してください。それ以外の学生は上表の開始年次学期以降に履修してください。

※食品衛生学、食品学各論、食品開発科学、栄養化学を履修する場合は、食品科学の単位取得後に履修してください。

### 1 3 放射線総合科学

開設部局	被ばく医療連携推進機構
概要	<p>青森県には、多くの原子力関連施設があり、万が一の原子力災害や放射線被ばく事故に備えることが非常に重要です。東日本大震災では、地震の発生による大規模な津波の被害、これに伴う福島第一原子力発電所事故による原子力災害が発生し、現在も復興活動が続いており、未成熟な理解による風評被害が根付いています。本教育プログラムは、今後起こりうる複合災害について、過去の事例から災害予防、災害応急対策、災害復旧などを多角的に学び、放射線及び関連する分野を複合的に学ぶことで、青森県やこれと同様に原子力関連施設を要する地域の課題に積極的に取り組む人材を育成することを目的とします。</p> <p>被ばく医療総合研究所では、これまで福島復興支援活動を通じて培った教育・研究成果を活かし、放射線が環境や人体に及ぼす影響を正しく理解するだけでなく、喫緊のエネルギー問題の解決方法についても考察します。この学修により、青森県や同様に原子力関連施設を有する地域の課題を正しく理解し、地域のリーダーとして指導・実践する力を養います。</p>
到達目標	<p>副専攻・放射線総合科学では、自所属の卒業の要件を満たし、次に掲げる目標に達していることが修了の要件となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複合災害に対する基礎的な知識を習得し、災害予防、応急対応、災害復旧を俯瞰的に見通す力を修得していること。</li> <li>・放射線が環境や人体に及ぼす影響を正しく理解し、エネルギー問題の解決に取り組んでいく力を修得していること。</li> <li>・地域課題を正しく理解し、地域のリーダーとして指導・実践するためのスキルを学び続ける力を修得していること。</li> </ul>
履修人数上限	基本的には講義室定員（詳細はガイダンス等で説明します。）
履修時期	1年次前期～4年次後期
修了要件	本プログラムの必修科目を6単位以上、選択必修科目を10単位以上、合計16単位以上を修得していること。
プログラムの紹介	<p>弘前大学被ばく医療総合研究所は、放射線に関わる物理学・生物学・化学を専門領域とする教員で構成され、放射線科学領域のフロントランナーとして教育・研究・社会貢献活動をけん引してきました。これまでに形成した知的基盤の強化に加えて、原子力規制に係る機関、自治体による実践的な講義とインターンシップ研修を融合させることにより、放射線防護に関する科学的・技術的知見を身に付けた人材を継続的に育成します。この人材は、青森県以外の原子力発電所等の原子力関連施設を有する地域に加え、我が国全体の原子力規制を担う重要な人材になり得ると考えています。</p> <p>なお、本プログラムの科目には、自然災害、感染症災害及び救急救命講習などの学習があり「防災士」の受験資格（受験会場は弘前大学）を得ることができ、一定の科目を取得することで、卒業時には「弘前大学災害対応マネージャー」の称号も得ることができます。</p> <p>授業の講師は、本学・他大学の各専門分野の教員のほか、青森県内の自治体、地方気象台、弘前市消防事務組合消防本部、青森県内の原子力関連施設関係者及び原子力規制庁など様々な機関の専門家により実施します。</p>
プログラムに関する問合せ先	<p>被ばく医療総合研究所事務担当  TEL 0172-39-5504  Mail jm5401@hirosaki-u.ac.jp  世話教員 三浦 富智 Mail tomisato@hirosaki-u.ac.jp</p>

## 放射線総合科学 授業科目一覧

教養・専門(学部)	科目群	授業科目名	学期	開始年次 学期	単位数	必修	選択 必修	選択
教養	自然・科学	環境と生活(弘前大学災害対応マネージャー その1 防災科学/副専攻「放射線総合科学」科目)	前期	1年	2	2		
教養	人間・生命	医学・医療の世界(弘前大学災害対応マネージャー その2 災害医学/副専攻「放射線総合科学」科目)	後期	1年	2	2		
教養	グローバル	持続可能な開発目標SDGs(弘前大学災害対応マネージャー その3 原子力災害の理解/副専攻「放射線総合科学」科目)	後期	1年	2	2		
教養	自然・科学	物理学の世界(放射線防護概論/副専攻「放射線総合科学」科目)	後期	1年	2		★と☆の合計10以上	
教養	グローバル	地球環境・気候(エネルギー地球環境学概論/副専攻「放射線総合科学」科目)	前期	2年	2			
教養	自然・科学	生物学の世界(被ばく影響学概論/副専攻「放射線総合科学」科目)	前期	1年	2			
教養	グローバル	地域の経済・産業(原子力行政概論/副専攻「放射線総合科学」科目)	前期	2年	2			
教養	キャリア	キャリアデザイン(原子力安全システム学/副専攻「放射線総合科学」科目)	前期	3年	1			
教養	キャリア	キャリアデザイン(放射線防護実践演習/副専攻「放射線総合科学」科目)	前期	3年	2			
教養	キャリア	キャリアデザイン(原子力防災実践演習/副専攻「放射線総合科学」科目)	前期	3年	1		左から2以上☆	
教養	グローバル	国際地域・社会・文化(国際放射線科学特論/副専攻「放射線総合科学」科目)	前期	3年	2			
教養	キャリア	キャリアデザイン(原子力規制特別演習/副専攻「放射線総合科学」科目)	後期	3年	2			
教養	自然・科学	化学の世界(環境放射生態学演習/副専攻「放射線総合科学」科目)	後期	3年	2			
教養	自然・科学	物理学の世界(環境放射線計測学演習/副専攻「放射線総合科学」科目)	前期	3年	2			
教養	自然・科学	生物学の世界(放射線生物影響モニタリング学演習/副専攻「放射線総合科学」科目)	前期	3年	2			
教養	グローバル	国際地域・社会・文化(国際放射線科学演習/副専攻「放射線総合科学」科目)	後期	3年	2			
合計							16	

## 1.4 データサイエンスコース

開設部局	教育推進機構						
概要	<p>本学では教養教育科目をもとにして、文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」の要件を満たすものとして、二つのプログラムを用意している。一つは、1年次に必修である「データサイエンス基礎」「地域学ゼミナール」の2科目で構成する「数理・データサイエンス・リテラシープログラム」、もうひとつは「データサイエンス基礎」、「データサイエンス数学」、「データサイエンス発展I, II」の4科目で構成する「数理・データサイエンス・応用基礎プログラム」である。</p> <p>本副専攻プログラムの目標は、データサイエンス・AIを駆使して課題解決できる人材を養成することである。「数理・データサイエンス・リテラシープログラム」をベースに、AIやデータ分析の理解に必須となる数学を「データサイエンス数学」で、巨大なデータを相手に高度なデータ分析を行うには必須のプログラミングを「データサイエンス発展I」で履修する。その上で、興味によって、ビジネス課題の解決プロセスを学ぶ「ビジネスデータサイエンス」と、プログラミングでAIを駆使しデータ分析課題に挑戦する「データサイエンス発展II」のどちらかを選択して履修する。</p> <p>なお、「データサイエンス数学」は、以下の数学科目(群)で代替可能とする。教育学部の「数学基礎A、B」の2科目、理工学部・数物科学科、地球環境防災学科、電子情報工学科、機械科学科「理工系の数学A、B」の2科目、理工学部・物質創成化学科「理工系の数学A」の1科目、理工学部・自然エネルギー学科「理工系の数学A」「微分積分学」の2科目である。</p> <p>※前述の科目の内、令和4年度入学者については、名称が異なる科目がありますので、以下により確認してください。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>令和5年度入学者科目名</th> <th>令和4年度入学者科目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>データサイエンス数学</td> <td>数学の世界ーデータサイエンスのための数学ー</td> </tr> <tr> <td>ビジネスデータサイエンス</td> <td>グローバル経済・産業ービジネスデータサイエンスー</td> </tr> </tbody> </table>	令和5年度入学者科目名	令和4年度入学者科目名	データサイエンス数学	数学の世界ーデータサイエンスのための数学ー	ビジネスデータサイエンス	グローバル経済・産業ービジネスデータサイエンスー
令和5年度入学者科目名	令和4年度入学者科目名						
データサイエンス数学	数学の世界ーデータサイエンスのための数学ー						
ビジネスデータサイエンス	グローバル経済・産業ービジネスデータサイエンスー						
到達目標	<p>○AIやデータサイエンスで必須となる微積・線形代数・統計を理解する</p> <p>○プログラミングでデータ分析を実行できる</p>						
履修人数上限	なし						
履修時期	1年次前期～4年次後期						
修了要件	本プログラムの必修科目を8単位以上、選択科目を2単位以上修得していること。						
プログラムの紹介	<p>理工系の場合、研究・開発においてプログラミングでAIを駆使してデータ分析を行うことは必須の能力です。また、文系であっても、これからのデータ駆動社会を担っていくには、AIを駆使したデータ分析・課題解決の経験の有無の差は大きいです。プログラミングの修得は容易ではありませんが、学習の容易なオンデマンド教材を用意して可能な限りハードルを下げています。ぜひ、本コースを履修して、プログラミングでデータ分析し課題解決するとはどういうことなのかを体験してみてください。</p> <p>*理工学部では「データサイエンス発展I, II」の履修を推奨しています。</p> <p>**「データサイエンス発展II」を選択して本コースを履修した場合、「数理・データサイエンス・応用基礎プログラム」も履修したことになります。</p>						
プログラムに関する問合せ先	<p>教務課教養教育担当</p> <p>TEL 0172-39-3106</p> <p>Mail jm3106@hirosaki-u.ac.jp</p> <p>世話教員 玉田 嘉紀 Mail y.tamada@hirosaki-u.ac.jp</p>						

## データサイエンスコース 授業科目一覧

< 2023年度入学者（人文社会科学部・医学部・農学生命科学部）対象 >

教養・専門 (学部)	科目群	授業科目名	学期	開始年次 学期	単位数	必修	選択
教養	データサイエンス	データサイエンス基礎	前期	1年 前期	2	2	
教養	スタディスキル	地域学ゼミナール	後期	1年 後期	2	2	
教養	データサイエンス	データサイエンス数学	後期	1年 後期	2	2	
教養	データサイエンス	データサイエンス発展Ⅰ	前期	2年 前期	2	2	
教養	データサイエンス	ビジネスデータサイエンス	前期	2年 前期	2	}	2
教養	データサイエンス	データサイエンス発展Ⅱ	後期	2年 後期	2		
合計						10	

< 2023年度入学者（教育学部）対象 >

教養・専門 (学部)	科目群	授業科目名	学期	開始年次 学期	単位数	必修	選択
教養	データサイエンス	データサイエンス基礎	前期	1年 前期	2	2	
教養	スタディスキル	地域学ゼミナール	後期	1年 後期	2	2	
専門 (教育)		数学基礎A	前期	1年 前期	2	}	「数学基礎 A, 数学基礎 B」の両方ま たは「デー タサイエン ス数学」の いずれかの 単位を修得 すること
専門 (教育)		数学基礎B	前期	1年 前期	2		
教養	データサイエンス	データサイエンス数学	後期	1年 後期	2		
教養	データサイエンス	データサイエンス発展Ⅰ	前期	2年 前期	2	2	
教養	データサイエンス	ビジネスデータサイエンス	前期	2年 前期	2	}	2
教養	データサイエンス	データサイエンス発展Ⅱ	後期	2年 後期	2		
合計						10または12	

<2023年度入学者（理工学部）対象>

教養・ 専門（学部）	科目群	授業科目名	学期	開始年次 学期	単位数	必修	選択
教養	データサイエンス	データサイエンス基礎	前期	1年 前期	2	2	
教養	スタディスキル	地域学ゼミナール	後期	1年 後期	2	2	
専門 （理工）		理工系の数学A	前期	1年 前期	2	2	
専門 （理工）		理工系の数学B	前期	1年 前期	2		数物科学科， 地球環境防災 学科，電子情 報工学科，機 械科学科必修
専門 （理工）		微分積分学	後期	1年 後期	2		自然エネルギー 学科必修
教養	データサイエンス	データサイエンス発展Ⅰ	前期	2年 前期	2	2	
教養	データサイエンス	ビジネスデータサイエンス	前期	2年 前期	2		} 2
教養	データサイエンス	データサイエンス発展Ⅱ	後期	2年 後期	2		
合計						10または12	

<2022年度入学者（人文社会科学部・医学部・農学生命科学部）対象>

教養・ 専門（学部）	科目群	授業科目名	学期	開始年次 学期	単位数	必修	選択
教養	データサイエンス	データサイエンス基礎	前期	1年 前期	2	2	
教養	スタディスキル	地域学ゼミナール	後期	1年 後期	2	2	
教養	自然・科学	数学の世界ーデータサイエンスのための数学ー	後期	1年 後期	2	2	
教養	データサイエンス	データサイエンス発展Ⅰ	前期	2年 前期	2	2	
教養	グローバル科目	グローバル経済・産業ービジネスデータサイエンスー	前期	2年 前期	2		} 2
教養	データサイエンス	データサイエンス発展Ⅱ	後期	2年 後期	2		
合計						10	

<2022年度入学者（教育学部）対象>

教養・専門（学部）	科目群	授業科目名	学期	開始年次学期	単位数	必修	選択
教養	データサイエンス	データサイエンス基礎	前期	1年前期	2	2	
教養	スタディスキル	地域学ゼミナール	後期	1年後期	2	2	
専門（教育）		数学基礎A	前期	1年前期	2	「数学基礎A、数学基礎B」の両方または「データサイエンス数学」のいずれかの単位を修得すること	
専門（教育）		数学基礎B	前期	1年前期	2		
教養	自然・科学	数学の世界—データサイエンスのための数学—	後期	1年後期	2		
教養	データサイエンス	データサイエンス発展Ⅰ	前期	2年前期	2	2	
教養	グローバル科目	グローバル経済・産業—ビジネスデータサイエンス—	前期	2年前期	2	} 2	
教養	データサイエンス	データサイエンス発展Ⅱ	後期	2年後期	2		
合計						10または12	

<2022年度入学者（理工学部）対象>

教養・専門（学部）	科目群	授業科目名	学期	開始年次学期	単位数	必修	選択
教養	データサイエンス	データサイエンス基礎	前期	1年前期	2	2	
教養	スタディスキル	地域学ゼミナール	後期	1年後期	2	2	
専門（理工）		理工系の数学A	前期	1年前期	2	2	
専門（理工）		理工系の数学B	前期	1年前期	2	数物科学科，地球環境防災学科，電子情報工学科，機械科学科必修	
専門（理工）		微積分学	後期	1年後期	2	自然エネルギー学科必修	
教養	データサイエンス	データサイエンス発展Ⅰ	前期	2年前期	2	2	
教養	グローバル科目	グローバル経済・産業—ビジネスデータサイエンス—	前期	2年前期	2	} 2	
教養	データサイエンス	データサイエンス発展Ⅱ	後期	2年後期	2		
合計						10または12	

## 1 5 上級言語学習副専攻 (Advanced Language Learning Minor)

開設部局	教育推進機構
概要	<p>自律学習は、複雑で多面的な構造を持っています。それは、学習者が自分の学習を自己管理する能力、つまり、学習プロセスのさまざまな側面に関する決定に責任を持つことと定義することができます。学習者がそれぞれ目指す目標に向かい学習の計画をたて、それを実践し、評価を行います。またその実践を継続的にモニタリングし、問題解決を行うことで批判的思考能力・メタ認知能力を養います。この副専攻を通じて、自律的な言語学習者となるだけでなく、主専攻における自律的学習者、また生涯学び続ける人材の育成に貢献することができると期待されます。</p>
到達目標	<p>学習者がそれぞれ目指す目標に向かい学習の計画をたて、それを実践し、評価を行います。その実践を継続的にモニタリングし、問題解決を行うことで批判的思考能力・メタ認知能力を養います。</p>
履修人数上限	15人程度
履修時期	1年次前期～4年次後期
修了要件	本プログラムの必修科目を2単位以上、選択科目を8単位以上修得していること
プログラムの紹介	<p>この副専攻を通じて、生徒は語学の自立学習者になるだけでなく、専攻や生涯学習における自立学習者の育成にも貢献できるようになります。このチャンスを利用して、語学学習の目標を達成しましょう！</p>
プログラムに関する問合せ先	<p>教務課教養教育担当  TEL 0172-39-3106  Mail jm3106@hirosaki-u.ac.jp  世話教員 ヤグノ・ライク Mail r.jagno@hirosaki-u.ac.jp</p>

## 上級言語学習副専攻 (Advanced Language Learning Minor) 授業科目一覧

教養・専門 (学部)	科目群	授業科目名	学期	開始年次 学期	単位数	必修	選択
教養	グローバル	国際地域・社会・文化－自律的な言語学習－ Guided Autonomous Language Learning	前期	2年 前期	2	2	
教養	英語	Content and English Integrated Learning	前期	2年 前期	2	}	2
教養	英語	English for Global Communication	後期	2年 後期	2		
教養	英語	Academic Writing & Presentation	前期	2年 前期	2		
教養	グローバル	国際地域・社会・文化－歴史・認知言語学入門－	後期	1年 後期	2	}	2
教養	グローバル	現代日本学－津軽ライフ・英語で地元を語ろう－	前期	2年 前期	2		
教養	社会・文化	芸術－津軽のアートとナラティブ－	前期	1年 前期	2		
教養	社会・文化	文学－日本の絵本の世界－	前期	1年 前期	2		
教養	社会・文化	文学－日本の戦争文学－	前期	1年 前期	2		
教養	グローバル	現代日本学－日本の女性による文学－	後期	1年 後期	2		
教養	グローバル	地域の芸術・文学－青森の地方文壇と文学－	後期	1年 後期	2		
教養	多言語	ドイツ語 I&II、フランス語 I&II、中国語 I&II	前後 期	1年 前期	4	}	4
教養	多言語	特設言語 (ロシア語入門、スペイン語入門、ラテン語入門、韓国語 入門、アラビア語入門、中国語入門)	前期	1年 前期	2		
合計						10	

## 1 6 英語コミュニケーション副専攻 (English Communication Minor)

開設部局	教育推進機構
概要	グローバル・コミュニケーションとは、国際的な環境と文脈の中で、言語および非言語のメッセージを通じて情報を共有することであり、コミュニケーションの複数の分野を取り込んだ幅広い分野である。現在、グローバル・コミュニケーションの主要言語は英語である。この副専攻は、弘前大学の学生の将来的な研究や就職のために、英語のコミュニケーション能力を向上させることを目的とする。学生は、英語を使用してコンテンツを学習すると同時に、言語を学術的に使用する能力を養うことが期待される。
到達目標	コミュニケーション能力を涵養し、語学力を向上させます。
履修人数上限	なし
履修時期	1年次前期～4年次後期
修了要件	本プログラムの必修科目を2単位以上、選択科目を8単位以上修得していること
プログラムの紹介	グローバル化された世界の影響を受けた仕事でより良いチャンスを得るために、語学力を向上させましょう。このプログラムは、国際的なバックグラウンドを持つ学生に適しています。
プログラムに関する問合せ先	教務課教養教育担当 TEL 0172-39-3106 Mail jm3106@hirosaki-u.ac.jp 世話教員 ヤグノ・ライク Mail r.jagno@hirosaki-u.ac.jp

## 英語コミュニケーション副専攻 (English Communication Minor) 授業科目一覧

教養・ 専門 (学部)	科目群	授業科目名	学期	開始年次 学期	単位数	必修	選択
教養	グローバル	現代日本学—津軽ライフ・英語で地元を語ろう—	前期	2年 前期	2	}	2 ※
教養	グローバル	国際地域・社会・文化—歴史・認知言語学入門—	後期	1年 後期	2		
教養	英語	Content and English Integrated Learning	前期	2年 前期	2	2	
教養	英語	English for Global Communication	後期	2年 後期	2	}	2
教養	英語	Academic Writing & Presentation	前期	2年 前期	2		
教養	社会・文化	芸術—津軽のアートとナラティブ—	前期	1年 前期	2	}	4 ※※
教養	社会・文化	文学—日本の絵本の世界—	前期	1年 前期	2		
教養	社会・文化	文学—日本の戦争文学—	前期	1年 前期	2		
教養	グローバル	現代日本学—日本の女性による文学—	後期	1年 後期	2		
教養	グローバル	地域の芸術・文学—青森の地方文壇と文学—	後期	1年 後期	2		
合計						10	

※「現代日本学—津軽ライフ・英語で地元を語ろう—」「国際地域・社会・文化—歴史・認知言語学入門—」の両方を取得した場合、2単位は ※※ の4単位に含めます。

## 17 インターナショナル・リベラルアーツ副専攻 (International Liberal Arts Program Minor)

開設部局	教育推進機構
概要	弘前大学では、学部の学びの中核をリベラルアーツ、教養教育としています。専門に直結する基礎的な知識や技能を身につけるだけでなく、幅広い分野に興味を持ち、学際的・総合的に課題に取り組む能力を養うことが期待されています。そのため、「国際教養プログラム」では、教養課程を活用し、グローバル化した世界のニーズに対応できるようなテーマを提供しています。
到達目標	グローバル化した世界のニーズを満たすトピックを学びます。 語学力を向上させます。
履修人数上限	なし
履修時期	1年次前期～4年次後期
修了要件	本プログラムの選択科目を14単位以上修得していること
プログラムの紹介	グローバル化された世界に向けてリベラルな研究に集中してください。このプログラムは、国際的なバックグラウンドを持つ学生に適しています。
プログラムに関する問合せ先	教務課教養教育担当 TEL 0172-39-3106 Mail jm3106@hirosaki-u.ac.jp 世話教員 ヤグノ・ライク Mail r.jagno@hirosaki-u.ac.jp

# インターナショナル・リベラルアーツ副専攻 (International Liberal Arts Program Minor) 授業科目一覧

教養・専門(学部)	科目群	授業科目名	学期	開始年次 学期	単位数	必修	選択
教養	グローバル	グローバル科目から2科目	前期 後期	1年 後期	2	4	
教養	英語	Content and English Integrated Learning	前期	2年 前期	2	}	6
教養	英語	English for Global Communication	後期	2年 後期	2		
教養	英語	Academic Writing & Presentation	前期	2年 前期	2		
教養	英語	English for Tests	後期	2年 後期	2		
教養	多言語	ドイツ語 I&II、フランス語 I&II、中国語 I&II	前期 後期	1年 前期	4		
教養	多言語	特設言語(ロシア語入門、スペイン語入門、ラテン語入門、韓国語入門、アラビア語入門、中国語入門)	前期	1年 前期	2		
教養	グローバル	国際地域・社会・文化ー歴史・認知言語学入門ー	後期	1年 後期	2	}	4
教養	グローバル	現代日本学ー津軽ライフ・英語で地元を語ろうー	前期	2年 前期	2		
教養	社会・文化	芸術ー津軽のアートとナラティブー	前期	1年 前期	2		
教養	社会・文化	文学ー日本の絵本の世界ー	前期	1年 前期	2		
教養	社会・文化	文学ー日本の戦争文学ー	前期	1年 前期	2		
教養	グローバル	現代日本学ー日本の女性による文学ー	後期	1年 後期	2		
教養	グローバル	地域の芸術・文学ー青森の地方文壇と文学ー	後期	1年 後期	2		
合計						14	

## 1 8 ジェンダーと多様性の理解副専攻 (Gender and Diversity studies Minor)

開設部局	教育推進機構
概要	活力ある持続可能な地域、人づくりのため、文化や社会の多様性に対して造詣の深い人材の育成が本学には求められている。本学にはすでに、多様性、ジェンダー、平等といったテーマに関して多くの教養教育科目、また専門科目が開講されており、それらを体系的に履修することで、あおもりの今、未来をつくる人材の育成に貢献することができる。
到達目標	ジェンダーと不平等の社会的、政治的、文化的側面を探る
履修人数上限	なし
履修時期	1年次後期～4年次後期
修了要件	本プログラムの必修科目を2単位以上、選択科目を6単位以上修得していること
プログラムの紹介	ジェンダー研究は、すべての社会的および文化的分野におけるジェンダーおよびジェンダー関係の意味を探求する学際的および学際的な学習方法を提供します。このプログラムは、性別間の不平等と不平等の問題に取り組み、性別の違いと社会変化の可能性に関する会話を行います。この重要なトピックについてもっと勉強する機会を利用してください。
プログラムに関する問合せ先	教務課教養教育担当 TEL 0172-39-3106 Mail jm3106@hirosaki-u.ac.jp 世話教員 ヤグノ・ライク Mail r.jagno@hirosaki-u.ac.jp

## ジェンダーと多様性の理解副専攻 (Gender and Diversity studies Minor) 授業科目一覧

### <2022・2023年度入学者>

教養・ 専門 (学部)	科目群	授業科目名	学期	開始年次 学期	単位数	必修	選択
教養	グローバル	多元的地域志向科目：地域の多様性と活性化 ー地域社会とジェンダー	後期	2年 後期	2	2	
教養	キャリア	キャリア形成の発展ーダイバーシティとキャリアー	後期	2年 後期	2	} 6	
専門 (人社)		アメリカ・オセアニア地域学 A	前期	2年 前期	2		
専門 (人社)		アメリカ・オセアニア地域学 B	後期	2年 後期	2		
教養	グローバル	現代日本学ー日本の女性による文学ー	後期	1年 後期	2		
合計							8

### <2020・2021年度入学者対象>

教養・ 専門 (学部)	科目群	授業科目名	学期	開始年次 学期	単位数	必修	選択
教養	グローバル	地域の多様性と活性化ー地域社会とジェンダーー	後期	2年 後期	2	2	
教養	キャリア	キャリア形成の発展ーダイバーシティとキャリアー	後期	2年 後期	2	} 6	
専門 (人社)		アメリカ・オセアニア地域学 A	前期	2年 前期	2		
専門 (人社)		アメリカ・オセアニア地域学 B	後期	2年 後期	2		
教養	グローバル	日本ー日本の女性による文学ー	後期	1年 後期	2		
合計							8

## 19 持続可能な開発目標SDGs教育プログラム

開設部局	教育推進機構
概要	<p>本プログラムでは2015年9月に国連サミットで定められた国際社会共通の目標として掲げているSDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）17目標を取り上げ、世界規模で起きている様々な問題について学び、SDGsの17目標の具体的な課題やその取り組みについて深め・実践することを目的とします。</p> <p>社会的・生態的な持続可能性を脅かしている様々な課題を克服するためにはあらゆる領域において持続可能な社会の構築に取り組む「共・協創教育（共に協力して創る「共・協創の基本原理」）」への転換が強く求められています。とりわけ、①環境＝地球温暖化、エネルギー問題の深刻化、自然災害の増加、水問題の深刻化、気候変動、生物多様性の喪失などの問題、②社会＝貧困、教育機会の不平等、人種差別、紛争の長期化・複雑化、健康と福祉、消費と生産などの問題、③経済＝経済格差の拡大、若年失業率、雇用なき都市化の進行の問題など、世界が直面している課題です。本持続可能な開発目標SDGs教育プログラムでは、上記の課題について学び、問題意識をしっかりと持ち、持続可能な未来づくりのための施策・解決策（案）を探求することを目指していきます。</p>
到達目標	世界規模で起きている様々な問題について学び、国際社会共通の目標として掲げているSDGsの17目標の具体的な課題や国際・国内の取り組みについて深め・実践することができる
履修人数上限	なし
履修時期	1年次前期～4年次後期
修了要件	本プログラムの必修科目を6単位以上、選択科目を12単位以上修得していること
プログラムの紹介	持続可能な開発目標SDGs教育プログラムは、世界規模で起きている様々な問題について学び、国際社会共通の目標として掲げているSDGsの17目標の具体的な課題や国際・国内の取り組みについて深め・実践することを目指します。本教育プログラムでは、本学の文系・理系の枠を超えた学問異分野領域横断の学部・教員によって構成された本学の特色のある副専攻教育プログラムです。
プログラムに関する問合せ先	<p>教務課教養教育担当  TEL 0172-39-3106  Mail jm3106@hirosaki-u.ac.jp  世話教員 宋 美蘭 Mail smiran@hirosaki-u.ac.jp</p>

# 持続可能な開発目標SDGs教育プログラム 授業科目一覧

教養・専門 (学部)	科目群	授業科目名	学期	開始年次 学期	単位数	必修	選択
教養	グローバル	持続可能な開発目標 SDGs—持続可能な開発目標 SDGs17Goals— (*前期・後期のいずれを受講すること)	前期 後期	1年 前期	2	2	
教養	スタディスキル	地域学ゼミナール	後期	1年 後期	2	2	
教養	データサイエンス	データサイエンス基礎	前期	1年 前期	2	2	
教養	グローバル	多文化共生社会・教育・運動 —グローバル時代の多様性と包摂性①—(前期) (*2023年開講予定)	前期	2年 前期	2	6	
教養	グローバル	多文化共生社会・教育・運動 —グローバル時代の多様性と包摂性②—(後期)	後期	1年 後期	2		
教養	グローバル	多文化共生の社会と言語 (*2023年開講予定)	後期	1年 後期	2		
教養	グローバル	英語で考えるSDGs (*2023年開講予定)	前期	1年 後期	2		
教養	グローバル	国際地域・社会・文化 —異文化間コミュニケーション—	後期	1年 後期	2		
教養	グローバル	地域プロジェクト演習 —津軽地域文化国際共修AもしくはB	前期 後期	1年 前期	2		
教養	グローバル	地域の多様性と活性化①もしくは② (*2023年度から「地域の多様性と活性化—多文化共生社会における自己のキャリアを考える—」となる)	前期 後期	2年 前期	2		
教養	グローバル	地域プロジェクト演習—健康革命を学ぶ—	前期	1年 前期	2		
教養	社会・文化	政治経済・社会—社会学入門—	前期	1年 前期	2		
教養	人間・生命	人を育む営み—教育と社会—	後期	1年 後期	2		
教養	人間・生命	人を育む営み—女性の健康	後期	1年 後期	2		
専門 (教育)		政治学概論	前期	2年 前期	2		
専門 (教育)		国際政治学	後期	3年 後期	2		
教養	グローバル	持続可能な開発目標 SDGs SDGsのつかい方①② (*前期・後期のいずれを受講すること)	前期 後期	1年 前期	2	6	
教養	グローバル	持続可能な開発目標 SDGs —世界の健康問題—	後期	1年 後期	2		
教養	グローバル	地球環境・気候—21世紀の地球環境問題 ②	後期	1年 後期	2		
教養	グローバル	地域プロジェクト演習 「環境と向き合い実践を学ぶ」	前期	1年 前期	2		
教養	自然・科学	地球環境・気候—地球温暖化と防災	後期	1年 後期	2		
教養	自然・科学	工学の世界 —再生可能エネルギー—の物理入門—	後期	1年 後期	2		
教養	自然・科学	環境と生活—人類とエネルギー	前期	1年 前期	2		
教養	自然・科学	地球環境—地球学入門—	前期	2年 前期	2		
教養	自然・科学	環境と生活—環境と生活A①—	前期	1年 前期	2		
教養	自然・科学	環境と生活—環境と生活A②—	後期	1年 後期	2		
教養	自然・科学	農学の世界—農業と環境	後期	1年 後期	2		
専門 (理工)		防災気象学	前期	3年 前期	2		
専門 (理工)		エネルギー化学	前期	3年 前期	2		
専門 (農生)		保全生態学	前期	2年 前期	2		
専門 (農生)		水圏生態学	後期	3年 後期	2		
合計						18	